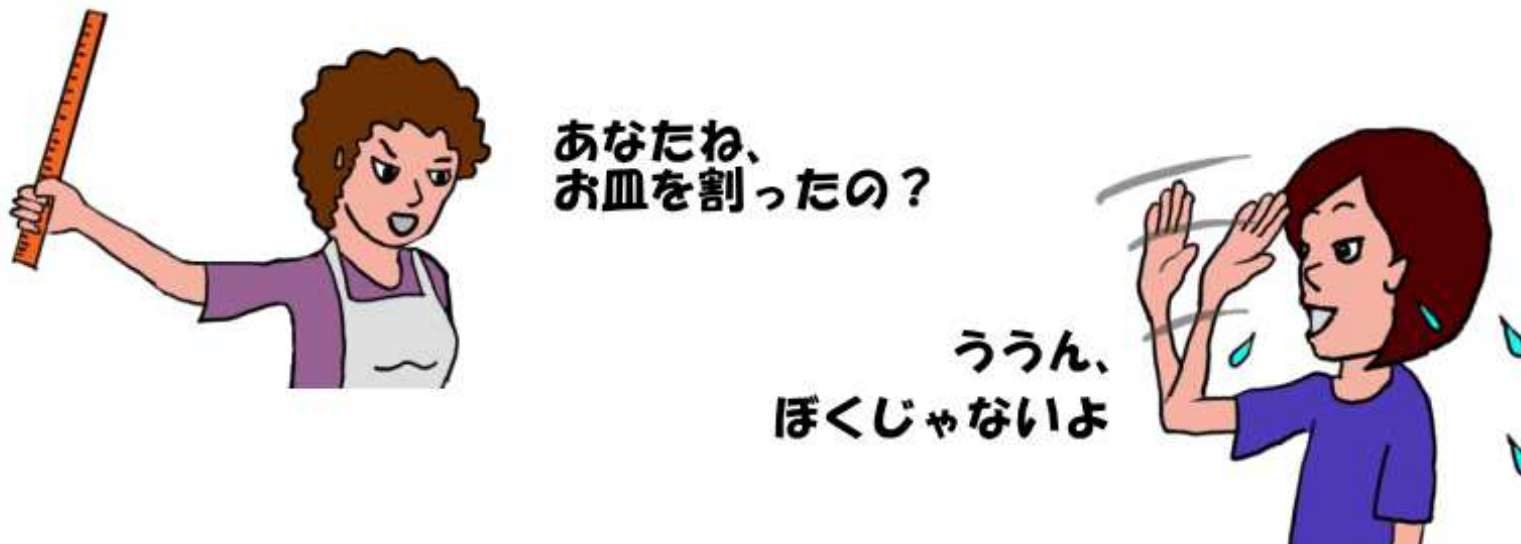


罰は絶望を生む



東郷 潤

恐怖を動機付けとして利用すれば、その分、恐怖が増えますね。たとえば母親の罰が怖くて、ウソをつく子がいたとします。



ある日、母親が気付きました。 この子、嘘ついていると。

そこで母親は、子供が嘘をつかないよう恐怖の動機づけで命令しました。



嘘をついたらダメ！

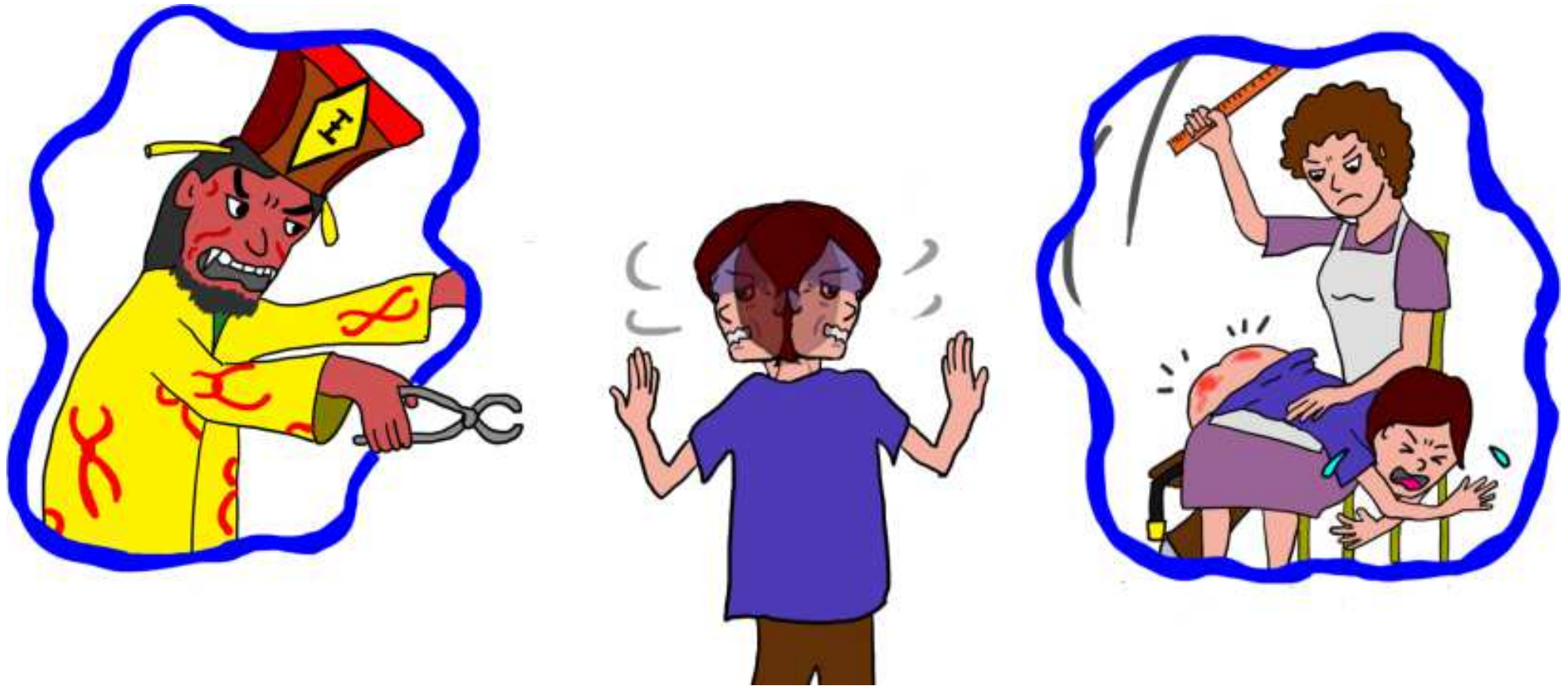
嘘をついたら地獄で
舌を抜かれるの



ある日、子供がまたお皿を割ってしまいました。



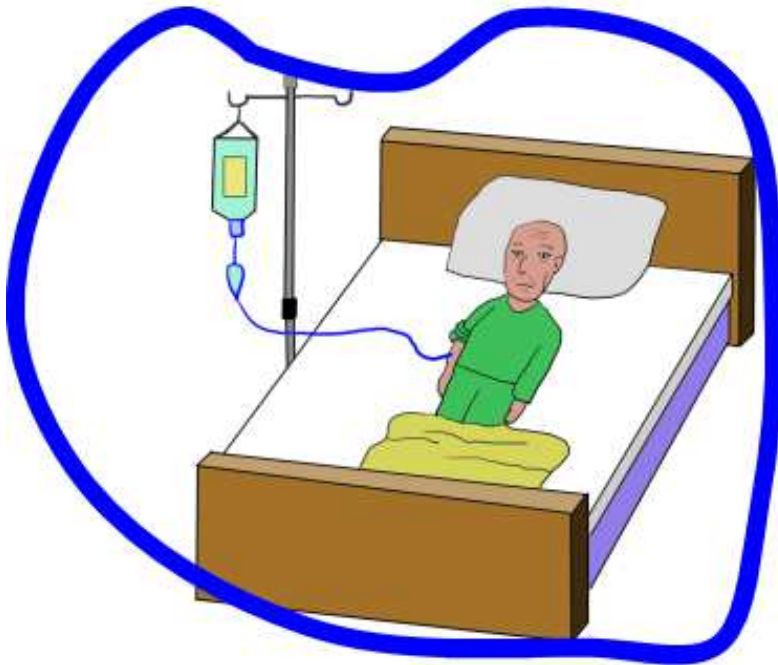
さあ、大変です。正直に言えば、母親の罰を受けます。嘘をつけば、地獄で舌を抜かれます。



どちらを向いても、罰。そこには絶望しかありません。

さて、罰と恐怖の動機付けは、その即効性と比類なき強制力により、現代社会のあらゆる局面で利用されています。

**外でしっかり運動しないと、
病気になるぞ**



**勉強をしないと、
ホームレスになるぞ!**



笑い者になるぞ

襲われるぞ

破産するぞ

地獄に落ちるぞ



死刑になるぞ



逮捕されるぞ



バカにされるぞ



殴られるぞ



罰・恐怖が生むのは、絶望です。



夢や希望ではありません。

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017